

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多摩市ひまわり教室			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～	令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～	令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人や事業所内において、研修や事例検討会が充実しており、スタッフの学びの機会が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内では、感染症、虐待防止、ハラスメント、安全運転、救命救急に関する研修を実施し、全スタッフが参加している。 ・常勤スタッフは個人の研修計画を立て、それに基づき計画的に研修を受講している。 ・発達支援に関するオンライン研修を年5回実施している。研修時には研修内容に基づき、次回までに実践すること、実践した内容とその結果などを発表し、研修で学んだことを実践する仕組みを作った。 ・事例検討会は年6回実施している。一人のこどもにつき3回の事例検討会を実施しており、P D C Aのサイクルで支援ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤スタッフが発達支援の研修に参加する機会がないため、家庭療育期間での実施や任意での参加を促す。 ・スタッフの配属状況に合わせて、現場での育成（OJT）の内容を検討し、実施していく。
2	多様な活動を提供しやすい環境にあるため、こどもの発達段階や特性等に合わせた遊びや活動が提供できる	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できる部屋の数が多く、広場・ベランダなどの環境も整っている。地域資源として遊歩道や公園にも恵まれているため、積極的に利用している。 ・こどものねらいに合わせてグループ分けを行い、活動を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどものアセスメントを丁寧に行い、よりこどもの発達ニーズに沿った活動を提供していく。 ・地域資源を開拓し、より多様な活動を提供していく。
3	スタッフ間で話し合いや相談がしやすい環境にあること	<ul style="list-style-type: none"> ・支援や活動はスタッフ間で話し合いながら決めている。 ・全体会議で業務について話し合う機会を設け、スタッフの意見を取り入れながら決定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の打ち合わせや療育後の振り返りの機会に情報共有や意見交換を行っていく。 ・引き続き、支援や業務については話し合い、スタッフが意見や提案する機会を設けていく。 ・お互いの意見を尊重しあう関係性を大切に、様々な意見を出し合うことで、支援の質の向上や働きやすさに繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援前の打ち合わせや支援後の振り返り等が十分にできないことがある 活動以外の場面の支援についての共有が不十分になることがある	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤スタッフの出勤前に送迎車が出発するため、打ち合わせの時間が確保できない。 ・会議日や面談の期間は振り返りができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は勤務時間を変更し、支援前の打ち合わせの時間を確保する。 ・クラスの業務日誌を活用し、書面で共有できるようにする。 ・ICTの活用を検討する。
2	家族支援の取り組みとして、交流の場や学びの場の充実及びきょうだい支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や学習会、「先輩ママとお話し会」を実施したが、参加者が少ない。保護者会ではクラスごとに懇談会を実施しているが、交流に至っていない。 ・親子遠足ではきょうだい児も参加しているが、きょうだい児の交流やきょうだい支援までには至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会時に部屋を開放するなどし、保護者が自由に交流できる場を設ける。 ・学習会などはオンラインでの参加など、参加方法を検討していく。 ・きょうだいが参加可能な行事を増やし、きょうだいも楽しめる企画を提供する。
3	地域との交流の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の幼稚園や保育園の園庭開放や地域向け行事の情報収集及びその活用ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園の地域向け行事や園庭開放等の情報を収集し、継続的な交流ができる場を検討していく。 ・地域の公園や遊び場、図書館、商店街などの資源を積極的に活用する。 ・地域の社会資源などの情報を保護者にも提供していく。